

要求書

第一條 解雇手當金百八十日分支給ノ事

理由 今回ノ工場閉鎖ハ突如暗討的ニ行ツタモノデ恰カモ業務上ノ負傷ト同様ニ見ラレ得ル。依ツテコ工場法第六條ノ休業扶助ノ規定ヲ準適用シテ百八十日分ヲ支給スルコト

又吾々従業員ハ低廉ナル賃銀ニ甘シシ數年間忠實ニ勤勞シ來リシニ拘ラズ抜討的ニ解雇ヲ申渡セル事ハ實ニ不人情極マル仕打ト云ハサルヤカラズ。然モ刻下^下如ク不況ナル社会ニ追ヒ出サレ^{此三枚}テハ速カニ就職ノ見込ナク、ユノ際僅少ナル手當^{ニテ}ハ生活ノ脅威絶大ナルニ就キ、多年勤勞ノ立場上当然ナル生活權擁護トシテ六ヶ月ノ解雇手當金ヲ支給スルコトハ極メテ至当ト考フルモノナリ。

第二條 女工ニ對スル解雇手當金モ前條ノ如シ

第三條 爭議費用全額工場主負擔ノ事

理由 工場主カラノ攻勢的態度ニ依ツテ發生シタル爭議ナル故ニ当然工場主負擔トスルコト

第四條 爭議中ノ日給全額支給ノ事

理由 第三條ニ同シ

第五條 右四ヶ條ハ解決ト同時ニ支拂フベキ事

右ノ如ク要求ス

昭和八年五月廿四日

三河島ガム合資會社

従業員一同

三河島ゴム合資會社

内田菊藏殿